

平成26年度病害虫発生予察注意報第3号

平成26年7月16日
愛知 県

作物名：キク、ダイズ
病害虫名：オオタバコガ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 やや多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 県内各地のフェロモントラップにおける誘殺数が6月下旬から7月上旬に急増している。7月上旬の誘殺数は、キクでは平年と比較して6.6倍、ダイズでは、8月上旬に多発ほ場が見られた前年と比較して2.5倍と多い。
- (2) 7月10日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は、高い確率50%で、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多いと予想されており、本虫の成育に好適な条件が続く見込みである。

4 防除対策

- (1) キクでは、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、キク及び花き類に適用のある農薬で防除する（表）。
- (2) ダイズでは、本虫に適用のある農薬がないので、豆類（種実）に適用のある農薬で防除する（表）。
- (3) 薬剤感受性が低下しないように、同一系統の農薬を連用しない（表）。

表 オオタバコガに対する主な防除薬剤

作物名	農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数	系統
キク	デルフィン顆粒水和剤	1,000倍	発生初期	—	A
	アクセルフロアブル	1,000～2,000倍	発生初期	6回以内	I
	ラービフロアブル	1,000倍	発生初期	6回以内	B
	ロムダンフロアブル	1,000倍	発生初期	5回以内	C
	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	発生初期	4回以内	D
	コテツフロアブル	2,000倍	発生初期	2回以内	E
	スピノエース顆粒水和剤	2,500～5,000倍	発生初期	2回以内	F
花き類・ 観葉植物	アフファーム乳剤	1,000倍	発生初期	5回以内	G
	ディアナSC	2,500～5,000倍	発生初期	2回以内	F
	プレオフロアブル	1,000倍	発生初期	2回以内	H
豆類 (種実)	チューンアップ顆粒水和剤	2,000～3,000倍	収穫前日まで	—	A
	サブリナフロアブル	500倍	収穫前日まで	—	A

系統 A：BT， B：カーバメート， C：IGR（脱皮促進）， D：ジアミド， E：ピロロール，
F：スピノシン， G：マクロライド， H：プロペニルオキシフェニル， I：その他
農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471